

第7期 東久留米市地域産業推進協議会
第6回会議録

- 1 日 時 令和4年10月31日（月）午後6時04分～午後7時15分
- 2 会 場 東久留米市役所7階703会議室
- 3 出席者等（敬称略・五十音順）

赤星 良平	秋田 茂良	伊藤 知広	伊藤 成美	榎本 義樹	大川 賢誠
大山 裕嗣	齋藤 正人	篠宮 宣典	多功 敬	土田 健太郎	野崎 林太郎

オブザーバー：竹村 俊斗

欠 席：なし

4 議 事

1 開 会

2 会長挨拶

3 報 告

4 議 事

（1）各事業部会の今後の取り組みについて（報告・質疑）

- ①イベント推進事業部会
- ②情報発信推進事業部会
- ③新産業創出推進事業部会

（2）その他

5 連絡事項

- （1）委員連絡
- （2）事務局連絡

6 次回協議会開催日

7 閉 会

1 開 会

【事務局】

- ・ 只今より、第6回東久留米市地域産業推進協議会を開催する。

【事務局】

- ・ (配付資料の確認)

2 会長挨拶

【会長】

- ・ 前回の全体会議開催の7月からの間、各事業部イベントの実施及び事業部以外の皆様のご協力誠にありがとうございます。本日は各事業部のそれぞれのイベント等の報告があるかと思うので、他事業部の方もいろいろとご意見を言っていて、ブラッシュアップしながらまた次回に繋げていければと思っている。

3 報 告

■ 事務局

- ・ 富士見テラスは、調査の結果、耐力不足等が判明し施設を除却することとなった。地域産業推進協議会の中ではダイヤモンド富士事業へ多大なるご支援をいただいていたところであるが、本事業については少なくとも一定の期間は実施が出来なくなった。

■ 商工会

- ・ 勉強会を開催予定（11月4日『ポストコロナ時代の販促・集客法を学ぶ～Google ビジネスプロフィール・SNS徹底活用講座～』、12月1日『中小・小規模企業がいま押さえるべきBCPの必要性と中小企業強靱化法について ～事業継続力強化計画策定支援セミナー～』）。

■ JA

- ・ 9月6日テレビ番組「モヤモヤさまぁ～ず2」にて奈良山園が取り上げられた。
- ・ 10月28日東京都農業祭の品評会があり、東京都種苗会理事長賞：小金井尚史さん（ネギ）、優秀賞：原喜孝さん（ホウレンソウ）・松本健太さん（キャベツ）、良好賞：町田貴彦さん（ダイコン）村野喜安さん（キャベツ）が受賞。
- ・ JA 東京みらい新鮮館で、11月11日から12日秋の収穫祭、19日駅弁大会、25日から26日に15周年セールを実施。

■ JC

- ・ 特になし。

■ 地域活性化センター

- ・ 特になし。

4 議 事

(1) 各事業部会の今後の取り組みについて（報告・質疑）

① イベント推進事業部会

■ 概 要

- ・資料1に基づき報告。

■ 補 足

【委員】

- ・8月5日に行われたナイトマルシェについて、情報発信、準備、警備、片付け等、皆様ご協力本当にありがとうございました。皆で出来て良かったと思っている。

【委員】

- ・近隣店舗の一つとして、ナイトマルシェ開催時間中に書店も売り上げが伸びた。

■ 意 見

【副会長】

- ・すごく楽しく、東久留米に活気があるというところを見せていただいて、とてもありがたく思う。一点、意見として。今回 SNS 等を使用し情報発信を行った。情報発信する側というのは発信し、受け取る側が色々考えて、色々な化学反応を起こしてもっともっと広がっていくものであるが、それに対して意見や問い合わせの担当窓口を決めるのがイベント推進事業部会かと思う。「こういう発信がありました但是这は何ですか」という問い合わせが来たときに、勝手に情報発信推進事業部会が答えるということはないと思う。情報発信する側は色々な情報をもらって発信しているが、問い合わせ先を明確にしておけば、次回以降はもっともっと素晴らしいものができるのではないかというふうに思った。

② 情報発信推進事業部会

■ 概 要

- ・資料2に基づき報告。

■ 補 足

【委員】

- ・ナイトマルシェのことを重点的に発信したが、どうしても情報発信は一方通行になりがちということがあり、意見内容が合っている・合っていないということは別として、こちらが意見や反応を受けっぱなしになってしまう部分もあるので、事前にある程度決まった返信できるようなものが欲しかったというのはある。
- ・SNS を使って情報発信してフォロワーの増加という点については、内容があれば“こうしていけば良いのだろう”ということにはわかった。情報発信するにあたって、飲食物に限らず東久留米市内の遠くの方でも宣伝するものは探せば出てくると思うが、当事者たちが情報を出すことや宣伝に対して積極的でない場合もあるので、委員の皆様

にご協力いただき、ちょっとしたことも拾っていき、場合によっては取材のようなこともできると良いかと思う。

【副会長】

- ・情報発信セミナーは、事業部長がコーディネートし、受講者を飽きさせない良いセミナーになった。

【委員】

- ・実際に SNS のリーチ数やフォロワー数といった定量数値が伸びてきているというところから、一定の効果は上がってきているのかと思う。実際に投稿してみてそういった反応を見ながら改善を繰り返すという PDCA サイクルをどんどん短期間で回しながらやっていくというところがこういった成果に繋がっているのかというふうに感じており、非常にいい流れかと思っている。

【委員】

- ・はしチョコに携わって1～2年程となり、●●委員のおかげもあってかなり見られているという実感がある。これを今後どう生かしていくかというの、また課題だと思う。街を歩いていて「はしチョコの“中の人”なの」等たまに質問されるようになってきているので、市民の皆様からはしチョコへの興味はかなり上がってきていると感じる。今後もしっかり生かしていければと思う。

■ 質 疑

【委員】

- ・SNS の件、まさにイベントのところについては●●委員に多大なご協力いただいた中で情報の提供が不足していた点、申し訳なく思う。
- ・これまでのナイトマルシェ以外の情報発信においてご意見・情報を活かしていく仕組みはどのようになっているのか、今までの仕組みであったら教えてほしい。

【委員】

- ・SNS 上でご意見に返信するような実例が今のところはなく、街を歩いていて話があがることはある。

【事務局】

- ・事業部内では、今回のことがあって事前に対応方針を明確にしていくといった意見が出たところである。

③新産業創出推進事業部会

■ 概 要

- ・資料3に基づき報告。
- ・地域産業を推進するとは何かということを勉強する会の開催を検討中である。セミナーおよび意見交換会を想定していること以外は現在議論の最中である。

■ 補 足

【委員】

- ・ 7月17日のランチショー実証実験について、多くの委員の皆様のご協力、ご参加ありがとうございました。参加目標には残念ながら至らなかったが、実証実験として、市内にある福祉車両の「所持していても使用していない時間帯」について飲食に限らない配達配送も含めた色々な活用の可能性が考えられると思っている。

【委員】

- ・ 介護事業所で使用している送迎車両をこういった形で初めて活用させていただき、色々なヒントが生まれた。この実証実験を生かして、現在、配送の部分について事業者とお話をさせていただく等、少し発展してきている部分もある。市内全体の介護事業所の送迎車はかなりの量があるので、そういった部分では雇用の創出や、介護事業所の経営状況の改善等、色々な部分で発展する可能性があるのではないかという実感は得た。今後これをどのように広げていくのか、継続的に取り組んでいきたいというふうに思っている。

【委員】

- ・ 事業部会の際、SNS やホームページの閲覧数はナイトマルシェとの比較はなかなか難しいのではないかという話はさせていただいたが、元々がご高齢者向けの事業を想定していたので、紙媒体の方がより周知として有効と感じている。
- ・ 当日、車に同乗して各店舗へ集荷を行ったが、運転手の方たちが地域のことをよくご存知だったので、現在進行中のお話について聞いて、非常に有効なのではないかと感じた。また、同乗した運転手の方が社員の方にもお弁当を提供されたというところで、どんな商品に関心があったかを聞いたところ、写真を見ておいしそうだったので頼んだという話で、値段のこともあるとは思いますが、やはり見栄えや普段なかなか食べないようなものに興味を引かれるといった話だったので、次の実証実験で生かしていけたらと思う。

【委員】

- ・ 来年の1月下旬から2月上旬にかけて新産業創出推進事業部として勉強会を企画させていただく。今期を一つの区切りとして、新しい時代の新しい地域産業推進協議会に向けて、地域産業とは何なのか、産業推進とは何なのかということ、もう一度原点に立ち返って学んでいこうという勉強会を企画している。第1期から14年位経ち、時代も変わってきており、SNS がこれだけ発達してきているので、またいろいろな視点で勉強を皆でしていきたいというふうに思っており、地域活性化センター様に講師の方をどなたかご紹介願いたく思う。

■ 質 疑

【委員】

- ・ 勉強会の講師の方については、どんな方が良いか、テーマ詳細や受講者、オンライン

形式の可否等、詳細は事務局と相談しながら調整で良いか。

【事務局】

- ・改めて依頼させていただきたい。

【副会長】

- ・来年1月の事業後に報告書の取りまとめとなると事務局は相当大変だと思うが、大丈夫か。

【事務局】

- ・対応する。

■ ご意見

【副会長】

- ・市内の飲食店が一堂に集う食事会の事業はすごく良かったと思う。新型コロナウイルス感染者数が増えていた時期であり、夏で暑く外出を控えたということで参加者が少なかったのであろうと思う。様々な事業で活用ができる市内の車が空いているということだが、「市役所がやること」「地域産業推進協議会がやること」なので、一つの事業所に偏った儲けができるようなことは絶対的になくしてほしい。もう1点、先ほどナイトマルシェも民間に移行して実施するという話があり、例えば最初に実行委員会制にしてから民間に渡す等色々な方法があると思うので、きちんと検討したうえで移行できると良い。

(2) その他

- ・なし

5 連絡事項

(1) 委員連絡

①委員

- ・11月25日、地域活性化センターに於いて地域プロモーションセミナー開催予定。昨年度の全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞した埼玉県北本市の担当者等を講師に迎える。後ほど事務局へ情報提供する。

②委員

- ・11月25日、「季節の味 志乃」にて市内の農家の方の篠宮様が代表として発信している「東久留米野菜を食べる日」を開催予定。

(2) 事務局連絡

- ・新産業創出推進事業部会から提案のあった勉強会について、1月下旬から2月上旬で日程調整させていただき、皆様にまた改めてご案内したい。
- ・12月10日に市の認定農業者及び農業経営者クラブ会員が生産した新鮮な農産物を販売する「昼市」を開催予定。

6 次回協議会開催日

- ・後日日程調整を行う。

7 閉 会

【事務局】

- ・会議の中で各事業部からイベント等取り組みについてご報告を聞かせていただいた。まず、イベントが中止することなく開催できて良かったと考えている。様々な制約がある中で皆様ご苦勞もされたことと思い、事業部会に集まる以外にも各委員様にはご尽力いただき、様々な取り組みを行って時間を費やされたのかなというふうに考えている。実施していただいた取り組みについては関わりを持った事業者の方々にとっても貴重な体験、経験になったと考えおり、今後の事業に生かしていただきたいなというふうに望んでいるところである。
- ・今後、先ほどお話のあった新産業創出推進事業部会で勉強会の開催も検討されているとのことなので、東久留米の地域産業を盛り上げていただくために今後どうぞよろしくお願ひしたいと思う。

【事務局】

これにて第6回東久留米市地域産業推進協議会を閉会としたい。